

4 報告

(2) 文化財補助事業

1 岩井石造物群保存修理工事事業

(1) 工事方法について

ア 石材工事

- (ア) 後列の3基の石造物をクレーンで吊り、搬出する。
- (イ) 約20cmのピンを石造物内部に打ち、上下の石を繋ぐ。
- (ウ) 基礎コンクリートと礎石の間に鉄筋を入れる。
- (エ) 打設した基礎の上に石造物群を移設する。

イ 基礎コンクリート工事

- (ア) 後列の石造物群を移設する場所に基礎コンクリートを打設する。

基礎は長さ1.7m×幅1.5m×厚さ0.15m

- (イ) 石造物群を移設した後、基礎コンクリートが見えないよう土で覆う。

ウ 石造物移設工事

- (ア) 前列の2基の石造物を掘り起こす。

- (イ) 石造物の角度を変えず、現在の位置から後ろに下げる際に下部まで埋め戻す。

(2) 藤井委員からのご意見

元位置にあることが重要な石造物のため、当初の位置を明確にし、極力動かさないことが望ましい。また、飼い石に別の石が使われていること、石造物の下に石の破片があることから、工事で石造物を上げる際に下の石を確認した方がよい。加えて、コンクリートの基礎は、土をかぶせて台石の下端より下が見えないようにした方がよいとご意見をいただいた。

工事前に当初の位置を写真と図面で記録し、工事中は礎石の下に石材が埋まっていないことを確認した。また、基礎が見えないようコンクリートの基礎の上に土をかぶせて仕上げを行った。

工事写真



工事前全景



石造物搬出作業状況



コンクリート流し込み作業状況



コンクリート基礎完成後状況



石造物穿孔作業状況



石造物搬入作業状況



石造物移設作業状況



工事完了後全景